

氏名	田口孝行	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	地域リハビリテーション、ヘルスプロモーション				
学位	博士（保健科学）				
学歴	1990年4月：秋田大学医療技術短期大学部理学療法学科、1997年10月：放送大学教養学部生活と福祉専攻、2001年4月：筑波大学大学院教育研究科修士課程、2004年4月：東京都立保健科学大学大学院保健科学専攻博士課程				
経歴	1993年4月：東京都リハビリテーション病院、1998年5月：東京都立保健科学大学保健科学部助手、2001年4月：埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2005年4月：埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2011年4月：埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2014年4月：埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会、日本公衆衛生学会、日本老年医学会、日本老年社会科学会、日本保健科学学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、専門リハビリテーション研究会、日本PNF研究会（監事）、埼玉県理学療法士会（理事・副会長、学会評議員）				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	新しいIPWを学ぶ 利用者地域とともに展開する保健医療福祉連携 執筆：第2章第2節、第4章5・9節、第6章1・3節、第7章第7節、おわりに	共著	あり	中央法規、289 担当:p23-28、94-96、118-125、154-156、159-162、199-201	編集：埼玉県立大学	2022.4
2	理学療法アクティブ・ラーニング・テキスト 地域理学療法 執筆：第3章 地域理学療法で求められる多職種連携	共著	あり	文光堂、139 担当:p34-35、45-51	編者：日高正巳、有馬慶美、加藤研太郎	2022.12
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	フレイル・ロコモ・低栄養該当者と社会とのつながり下位階層との関係	単独	第81回日本公衆衛生学会総会（甲府市）		○田口孝行	2022.10
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	吉川市におけるフレイルの実態調査と吉川市版フレイルチェックの見直し	単著	2022年度 吉川市受託研究報告書		○田口孝行	2023.3
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	吉川市受託研究	吉川市モデル地域におけるフレイルの実態調査に関する研究		研究代表者（20万円）	2022.5-2023.3	
2	産学連携共同研究	訪問型サービスCにおける訪問・遠隔併用型リハビリの実施方法と有効性に関する研究		研究代表者（70万700円）	2022.5-2023.12	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	生活環境論（2年前期）	○	8	リハビリテーションにおける家屋調査、家屋改造等に関する講義。		
2	理学療法応用技術学C（生活環境支援）（3年後期）	○	8	生活環境支援の考え方の基本を学び、各種疾患に対する生活環境支援と適応についての具体的実践例を提示して解説した。		
3	保健医療福祉概論（大学院）	○	6	保健医療福祉領域における研究方法と論文作成の基本について講義。各種社会保障制度、支援システムの課題と今後のあり方について検討する。また、医療と介護の連携等について講義。		

4	IPWシステム開発論（大学院）		5	専門職のIPW能力開発の理解を深める。地域基盤型IPW実習の学習効果を解説し、4大学連携教育の取組状況と学習成果やその教育支援システムについて解説（発表会含む）。
5	地域リハビリテーション学		2	学校法人早稲田医療学園早稲田医療技術専門学校 保健学科：非常勤講師：地域支援事業におけるリハビリテーション活動
6	老年期障害理学療法技術学（3年前期）	○	8	高齢期に起こりやすい障害を想定した介助・介護方法の演習。また、地域の高齢者を招き学生が考案した健康講座を実践的に実施。

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床運動学演習（3年前期）		13	失調症、脊髄損傷患者の動作分析に関する演習。
2	基礎理学療法学演習（1年後期）		2	協調性の維持と改善：協調性の維持と改善について理論と原理について解説と演習を実施。
3	理学療法セミナーⅠ（OSCE1）		8	臨床教育実習Ⅱに向けた、理学療法に必要な問診、面接、及び基本的評価技術に関する演習を実施し、能力評価として客観的臨床能力試験を実施。
4	理学療法セミナーⅡ（OSCE2）		8	臨床教育実習Ⅲ・Ⅳに向けた、理学療法に必要な問診、面接、及び基本的評価・治療技術に関する演習を実施し、能力評価として客観的臨床能力試験を実施。
5	がん看護学演習Ⅱ（大学院）		2	終末期にあるがん患者の苦痛を和らげるポジショニングや安楽な移乗方法について演習を含めて実施。
6	看護実践統合演習2-2		2	武蔵野大学看護学科：非常勤講師：「脳卒中患者、パーキンソン患者の動きの特徴、介助方法」について講義

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	地域理学療法学実習（3年後期）	○	23	介護老人保健施設における入所・通所・訪問リハについての詳細な業務に関する講義と、地域のいて重要な多職種連携に関する演習（緩和ケア、生活環境整備）。
2	ヒューマンケア体験実習（1年後期）	○	15	約400名の全学学生を対象にヒューマンケアについて考える。新型コロナの影響により本年度も学内実習で実施。通常は約80施設の協力を得て学外実習として実施。
3	臨床教育実習Ⅰ		学外実習：2週間 学内：2コマ	理学療法検査・測定についての体験的学外実習。3名担当。
4	臨床教育実習Ⅱ		学外実習：5週間 学内：5コマ	理学療法評価に関する学外実習。3施設担当。
5	臨床教育実習Ⅲ		学外実習：6週間 学内：2コマ	理学療法における評価・治療の総合学外実習。3施設担当。
6	臨床教育実習Ⅳ		学外実習：3週間 学内：2コマ	理学療法における地域リハビリテーション、および特別領域における総合学外実習。3施設担当。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022.4-2023.1	主指導 2名	副指導 1名
2	修士論文	2022.4-2023.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 1名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	博士前期課程論文（修士論文）審査	2022.4-2023.3	主査：1名

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	腎臓病療養指導セミナー	鳥居薬品株式会社	目指したい多職種連携の基本～多職種間の尊重と理解～	2022.7
2	IPW総合課程	埼玉県立大学	・ (8.27) IPW総論①「IPW/IPEとは？」：講師 ・ (11.5) IPW実習ファシリテータ（介護老人保健施設ピッラベッキア） ・ (12.10) IPW総合課程リフレクション	2022.8～12

3	2022年度臨床実習指導者講習会	日本保健医療大学	臨床実習指導者講習会：グループワーク・ファシリテーター	2022.9
4	臨床実習受け入れ施設対象講習会	埼玉県立大学 理学療法学科	フレイル予防事業への関わり方～ロコモ、サルコペニア、社会的フレイル、栄養・口腔フレイルも含めて～	2022.9
5	地域健康づくり事業	足立区竹の塚保健総合センター	健康マップの取り組みを今後の健康づくりに活かすために	2022.11
6	彩の国連携力育成プロジェクト（SAIPE）実践者研修会	彩の国連携力育成プロジェクト	緩和ケア I P W（多職種連携）研修	2022.11
7	東京国際大学臨床実習指導者講習会特別講演	東京国際大学	新指定規則改定によって臨床実習がどのように変わったのか	2022.12
8	2022年度臨床実習指導者講習会	日本医療科学大学	臨床実習指導者講習会：グループワーク・ファシリテーター	2023.1
9	すこやかみさと健康体操普及事業	三郷市健康推進課	「すこやかみさと健康体操」の方法と効果	2023.3
10	2022年度臨床実習指導者講習会	埼玉県立大学	臨床実習指導者講習会：講座講師、グループワーク・ファシリテーター	2023.3

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	越谷市	地域包括ケア推進協議会・会長	2021.7-2024.6
2	埼玉県総合医局機構	地域医療教育センター委員会研修企画作業部会員	2022.4-
3	公益社団法人 埼玉県理学療法士会	理事、副会長、学会評議会委員	2021.6-
4	公益社団法人 日本理学療法士協会	代議員	2021.4-2023.3
5	日本PNF学会	監事	2022.4-2023.3
6	第42回関東甲信越ブロック学会	副大会長、準備委員	2021.8-2023.10
7	東京都立大学	教員昇任選考委員会・外部委員	2022.9
8	東京都立大学大学院	大学院教員審査・外部委員	2022.9
9	吉川市	老人福祉センター指定管理者選考委員会・委員長	2022.10
10	埼玉県労働局安定部	埼玉県地域職業能力開発促進協議会・委員	2022.10-2023.3
11	埼玉県立大学	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会・第13回学術集 会長	2022.11

(3) ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		

(4) その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営

	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	地域産学連携センター・所長	2020.4-2023.3
2	学長指定プロジェクトへの関与	(大学間連携共同教育推進事業) 彩の国連携力育成プロジェクト (埼玉県立大学リーダー) 11年目	2012.10-
3	学科等における委員会等	臨床実習指導者講習会担当	2022.4-2023.3
4	学生支援	理学療法学科・ゼミ担当 (10名)	2021.4-2023.3
5	大学広報活動	オープンキャンパス (学科紹介)	2022.8
6	全学的委員会及びセンター業務等	地域産学連携委員会・委員長	2022.4-
7	全学的委員会及びセンター業務等	研究開発委員会・委員	2022.4-2023.3
8	全学的委員会及びセンター業務等	教員人事委員会	2022.4-
9	全学的委員会及びセンター業務等	教育・研究・地域連携の一体的推進事業審査会委員	2022.4-
10	全学的委員会及びセンター業務等	防災管理委員会委員	2022.4-
11	全学的委員会及びセンター業務等	発明審査会委員	2022.4-

12	全学的委員会及びセンター業務等	センター組織のあり方検討プロジェクトチームメンバー	2022.10-
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		